

編集後記

『名古屋ロー・レビュー』第3号編集委員会

本誌の創刊の後、名古屋大学法科大学院では、学生の法的知識の高度化、理論的分析能力の涵養、表現力の育成を目的として、研究科の教員の個別指導のもとでリサーチペーパーを作成するという「テーマ研究」たる科目が設けられた。法科大学院生の目的は新司法試験合格にとどまるものではない。高い理念をもって研究に取り組む学生の活動成果の公表の場として本誌が利用される、その意義は大きいものとする。

また、法律実務の場で活躍する法科大学院修了生の数も増えている。そうした法科大学院修了生が、実務での経験を土台として、研究を深め、それを発表するということは、発表者にも有意義なものである。

編集委員としては、本誌がそうした法科大学院生及び法科大学院修了生の研究・活動成果の発表の場として成長を続け、法律理論・実務の発展に寄与することを願っている。